



八鹿青溪



貫徹 慎独 創造

養父市立八鹿青溪中学校 校報
(令和5年10月10日) 第17号



八鹿青溪中 HP

学校教育目標「ふるさとを愛し 自らを高め 未来への道を切り拓く 八鹿青溪っ子の育成」

先進校視察～道德教育～

9月25日(月)、本校研修担当教員が奈良県大和郡山市立郡山東中学校へ視察に出かけました。この学校は道德教育の先進校として知られ、今後の八鹿青溪中学校の道德教育をさらに充実させることを目的に今回の視察を計画しました。

視察では、各学年の道德科の授業を参観させていただいたことに加えて、校長先生やご担当の先生より日常の道德教育について詳しくご説明いただいたとのことで、今後の八鹿青溪中学校の道德教育推進の参考にさせていただきます。

なお、この先進校視察は養父市教育委員会の「YABUスクールチャレンジ事業」の一環として行いました。



養父の未来づくり・地域貢献育成講座

9月26日(火)、兵庫県立人と防災未来センターから講師をお招きして、「養父の未来づくり・地域貢献リーダー育成講座」を実施しました。この講座は、防災、福祉、人権等の観点から自助と共助の精神を育むことを目的として養父市が主催しています。この日は、「世界的に見ても日本は地震が起こり



やすい国であること」「地震が起こるメカニズムについて」「近い将来、必ず起こるとされる南海トラフについて」「南海トラフはけっして遠い地の問題ではないこと」等のお話があり、防災意識を高揚させることがいかに大切なことであるかを再認識させられました。生徒も実に真剣にお話を聞き、将来の養父市を担う人材としてのものしく感じました。

校内職員研修～人権教育～

9月27日(水)、本校人権担当教員を講師として「同和問題」や「LGBT」などの人権課題をテーマにした校内職員研修を実施しました。

まず「同和問題」においては、歴史的背景を踏まえた上で、正しい知識を生徒たちへ伝えていくことが重要であることを共通理解しました。また、「LGB



T」については、映像資料「～あなたがあなたらしく生きるために～性的マイノリティと人権」(法務省)を視聴し、性的マイノリティとされる人々の多くが生きづらさを抱え、社会的に孤立する傾向があることを共通理解しました。

我が国には、その他にもさまざまな人権課題があります。今回のような校内職員研修を繰り返す中で、日々の人権教育をさらに充実させることができるように努力したいと考えます。

第5回全校集会

10月2日(月)、今年度5回目の全校集会を行いました。今回は、「あいさつ」についての話をさせていただきました。以下はその一部抜粋です。

「9月2日の土曜日にYBファブで開催された講演会に参加しました。その際に芝生広場から『校長先生!こんにちは!』と大きな声であいさつしてくれた生徒がおり、たいへん嬉しく思いました。また、生徒玄関前を高圧洗浄機で約3ヶ月にわたって清掃している事務職員の早崎先生によると、作業の横を通る生徒の6割があいさつしてくれるとのこと。ほとんどが『こんにちは!』ですが、そのうち約2割の人が『ごろうさまです!』『ありがとうございます!』と声をかけてくれるとのことでした。このように、校外でも元気にあいさつができるということ、また、作業をしている人の労をねぎらって、あるいは、感謝の気持ちをこめて言葉を送ることができることはたいへん素晴らしいことです。これからも是非続けてほしいです。」



全校集会の冒頭で校歌の練習

○「第56回 科学する但馬の子ども」但馬文教府長賞 ※理科の自由研究に関する受賞です。

八鹿青溪マラソン大会

10月4日(水)、八鹿青溪マラソンを開催しました。この大会は、①貫徹の精神を意識し、自己の体力の向上と最後まで走りきる精神力を培う②クラスの連帯感を深め、生徒同士が相互に励まし合える場をつくり、主体的に学ぼうとする力を育む、等の目的で開催し、男子は4km、女子は3km という長い距離を、どの生徒もしっかりと走り切りました。

沿道には、生徒の走りを一目見ようと駆けつけてくださった方もおられましたし、大会前には、コース脇の草刈りや路面の清掃を行ってくださった方もあったことで、たいへん嬉しく思いました。どうもありがとうございました



10月の「草庵先生の教え」

10月 校訓 貫徹 慎独 創造
せい たつと
読書は精を貴び、
じつ たつと
用功は実を貴ぶ。

読書は丁寧におこなうこと、
実践は行動することが大切である。



10月の「草庵先生の教え」は「読書は精を貴び、用功は実を貴ぶ」。読書は丁寧に詳しく学び、実践は実際に動く(行動)ことが大切であるという意味になります。

そういえば、私はこの秋に「頭のよさは国語力で決まる」(明治大学教授:齋藤 孝著)という本を読みました。簡単に目を通しただけで、つい満足してしまいましたが、再度時間をつくって丁寧に読み返してみようと思います。また、ただ単に本を読むだけではなく、学んだことを実践してみることを心がけようと思います。